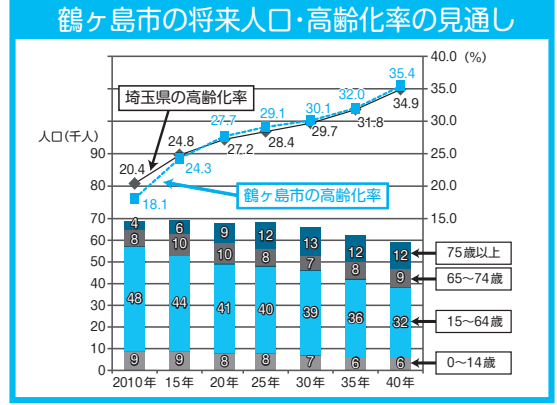


生活支援コーディネーターです！

よろしくお願ひします！

鶴ヶ島市の将来人口は、64歳以下の人口が減少し、65歳以上の人口が増加する推計がでています。また、75歳以上の要介護（要支援）の認定率は、65歳から74歳までの約7倍になっています。

生活支援コーディネーターは、高齢者などが住み慣れた地域で安全、安心に暮らしていけるよう生活支援や介護予防の体制づくりを進めていきます！



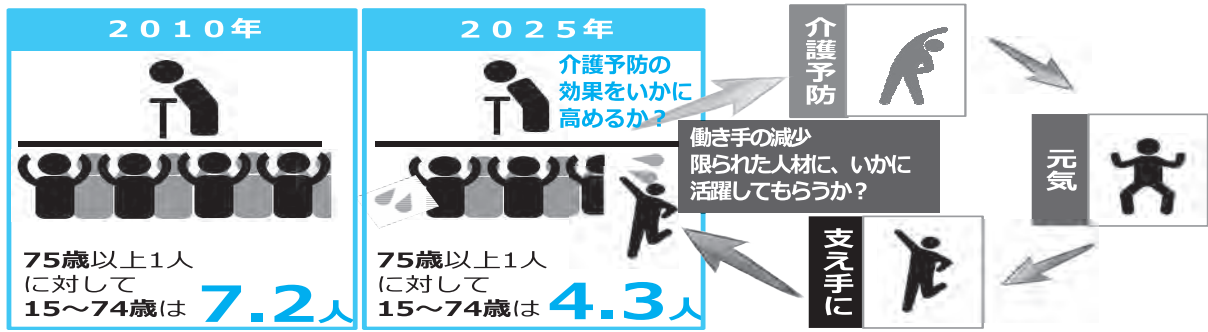
参考：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）

介護保険制度改正の背景 異次元の高齢化と人口減少社会に対応するには？

- 人口構成の激変
(働き手減少 / 75歳以上倍増)
- 認知症・独居・軽度認定者の増加
- 高齢者の在宅ニーズ
- 介護保険制度の持続可能性

- ★ 要介護認定率を上昇させない取組
 - ★ 「活動の場と活動者」を増やす取組
 - ★ 在宅医療、介護基盤の整備
- これらの取組を一体的に実施する必要がある

参考：「平成30年度埼玉県生活支援コーディネーター養成研修」埼玉県資料



仲間づくり 元気になる
を応援させてください♪



「ちょっと心配」「ちょっと不安」をご相談ください!!
問合せ 8ページ窓口一覧
社会福祉協議会まで



生活支援コーディネーターの具体的な取り組み

- 地域の見える化
- 生活支援体制推進協議会の開催
- 生活支援ニーズの把握、共有
- 困りごとに対するサービス情報の提供
- 担い手の発掘
- 生活支援コーディネーターだより「えん」の発行